

事業名	アンコールワット国際ハーフマラソン／アンコールウォーキング
分類	スポーツ事業支援、組織化支援
協働団体	カンボジアオリンピック委員会(NOCC)、カンボジア陸上連盟(KAAF)
活動概要	<p>大会趣旨:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に向かって「非人道的な対人地雷の使用禁止」を訴える。 ・大会エントリー費用は義手義足支援と、地雷被災者の社会復帰・自立を支援するとともに、青少年エイズ予防支援活動等に使用。 ・健常者だけでなく、障がい者も、共に走ることを通じて、勇気と希望を与える。 ・公認及び協カツアの旅行代金の一部とその他寄付をカンボジアのスポーツ振興に役立てる。 ・カンボジアに対する世界各国からの支援に対し、感謝と元気なカンボジアを訴求する。 <p>テーマ: 「Building a better future – Aid for children and disabled in Cambodia」</p> <p>主催: カンボジア陸上競技連盟(KAAF)、カンボジアオリンピック委員会(NOCC)</p> <p>主管: カンボジア陸上競技連盟(KAAF)</p> <p>運営: アンコールワット国際ハーフマラソン組織委員会・実行委員会</p> <p>特別運営協力: <NPO>ハート・オブ・ゴールド</p> <p>後援: カンボジア王国政府、独立行政法人国際協力機構(JICA)、産経新聞、サンケイスポーツほか</p> <p>協賛: (株)コニシ、ステファニー化粧品、CAMBREW LTD.、 Prince D'Angkor Hotel and Spa</p> <p>協力: (株)アシックス、(株)かねふく、ナカシマプロペラ(株)、両備グループ、(株)おもちゃ王国、ベネッセホールディングス(株)、(株)ライツ、(有)ハウ・エンタープライズ、(株)JTB 中国四国岡山支店、土浦市国際交流協会カンボジア研修視察団、鼓粋若衆板橋轟太鼓、Asia Life Magazine、Bridge Marketing Ltd.、ロイヤルアンコール国際病院、アンコール小児病院</p> <p>開催日時: 2011年12月4日(日) 午前6時30分スタート</p> <p>種目: ハーフマラソン 21km(男女/車椅子男女)、 ロードレース 10km(男女/義足男女/義手男女)、 ファン・ラン3km(オープン)</p> <p>コース: アンコール遺跡周回特設コース(AIMS 公認)</p> <p>プレイベント: ・アンコールウォーキング(12/2): 運営:HG、5・10km ウォーク、子ども達との交流 ・バイクラリー(12/3): 運営:Village Focus International ・前夜祭(12/4): 運営:観光省、HG</p> <p>エントリー: オンラインエントリー(GAA 委託)、日本 HG 代行登録、現地登録 P.M.Green、現地登録KAAF</p> <p>参加者: 5,230 人 58 の国と地域 ※参加者、参加国ともに過去最高。(プレイベント含めると 6,044 人) (カンボジア、中国、インドネシア、インド、イラン、日本、韓国、イスラエル、ラオス、マレーシア、パキスタン、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、ブータン、スリランカ、ブルネイ、トルコ、オーストラリア、ニュージーランド、サモア、オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、ロシア、フランス、ドイツ、ギリシャ、イギリス、アイルランド、イタリア、ウクライナ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、スペイン、スイス、セルビア、スウェーデン、チェコ、アルメニア、スロバキア、カナダ、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、ペルー、コロンビア、アメリカ、コスタリカ、南アフリカ、アルジェリア、ケニア、リビア、ナイジェリア、エチオピア)</p> <p>チャリティ: US\$19,400(カンボジア赤十字、カンボジア・トラスト、ハンディキャップ・インターナショナル、カンボジア障がい者陸連、HG) US\$275,017(第1回大会(1996)から第16回大会(2011)までの合計)</p> <p>特記事項: 参加者増加によるエントリー料およびプレッジシステムでのチャリティが増加。 男子ハーフ3位は、日本人(HGツアー参加者)。義足の女性の参加もあった。 大会当日は、バンド演奏や太鼓演技なども開催。現地最終確認の運営は会場が従来と変わったが、問題はなかった。前夜祭の準備、運営に関しては、次年度への課題が残った。</p>

